

WahFull User Manual



各コントロールについて

Mode Buffer Switch 3つの異なるワウ回路を選択できます。WackedはヴィンテージのColorsoundワウ、JimiはヴィンテージのVox Clyde McCoyワウ、Shaftは70年代初期のChicago CryBabyワウをモチーフにしています。

Pickup Compensator ピックアップの出力に対応するため反時計回りに回すことでインダクタに当たる信号を減少させ時計回りに回すことで信号を増加させることができます。

Volume エフェクトのラウドネスを調節します。12時の位置から、約10dBのゲイン増減が可能です。注意：アンプを大音量に設定した状態でブーストしないでください。

Frequency 増幅する周波数を設定します。足で操作すると、演奏しながら設定を変更できます。時計回りに回すと高い周波数に、反時計回りに回すと低い周波数にアクセスできます。

ON/OFF Footswitch オン/オフを切り替えるスイッチです。

入出力について

INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子

OUTPUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

External Pedal 1/4" TRS "ステレオ" 標準フォンケーブルを使用してエクスプレッション・ペダルを接続し、操作可能にします。

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された2.1mm x 5.5mm プラグの9VDC センターマイナス電源で動作します。

BATTERY

9ボルト電池(006Pバッテリー)で駆動させることも可能です。電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

EXP ペダルの接続について

当社独自の "Exp" 回路は、事実上どんなエクスプレッション・ペダルにも対応しますが、最良の結果を得るためには、エクスプレッション・ペダルのレンジ・ノブを慎重に調節する必要があります。エクスプレッション・ペダルを最大レンジに調節するには、ペダルをフル・ベース・ポジション(ヒール・ポジション)に戻し、エクスプレッション・ペダルの "トリマー・ノブ" を最も低音域が聞こえる位置に調節します。エクスプレッション・ペダルには「極性スイッチ」が付いていることが多く、「ノーマル」と「リバース」の配線が選択できます。ワウフルでエクスプレッション・ペダルを使用中に奇妙なホワイト・ノイズが聞こえたり、スイープが広がらない場合は、エクスプレッション・ペダルの極性スイッチの設定を試してみてください！シリアル番号629以上のワウフルは "Normal" 配線になっていますので、Expペダルでは常に "Normal" 設定を使用してください。

WahFull について

1999年頃、ロビン・トロワーから電話がかかってきて、マイケル・シェンカーとジミー・ペイジによって有名になったテクニック "ワウ半止め" サウンドを出すペダルを作ってくれないかと頼まれた。私はこれをワウ・フルと呼ぶことにして、彼のために1つ作り、その後、ジョー・サトリアーニのために2個目を作りました。それから、以下の便利な機能を追加して、すぐに Fulltone Custom Shop WahFull をリリースしました。Wacked、Jimi、Shaftの3つのクラシック・ワウ回路にアクセスできるロータリー・スイッチ、あらゆるエクスプレッション・ペダルに接続し、伝統的なワウ・ワウの操作が可能になるエクスプレッション・ペダル・コントロール・ジャック。Fulltone独自の Enhanced Bypassにより、スイッチング時の "ポップ" がなく、従来のバッファード・バイパスのようなトーン・ロスを感じさせないリッチなバイパス・トーンが得られます。回路のインプットに JFET バッファードを搭載し、2.2MΩという驚異的なインピーダンスを実現。10KΩのインピーダンスを持つ JFET バッファード・アウトプットにより、エフェクト・チェーンの後続ペダルから完全にアイソレート。また、アンプ・シミュレーターとして機能するため、ライブやレコーディング・セッションでサウンドを劇的に変化させ、より多彩なトーンを生み出すことができます。